

左京東部 いきいき通信

Vol.1
July.2015

発行：左京東部いきいき市民活動センター
発行日：平成27年7月○日

GREETING

はじまして、左京東部いきいき通信です。

左京東部いきいき市民活動センターでは、環境、教育、まちづくり、福祉、子育てなど、さまざまな市民活動の場として活用いただく施設です。利用者や地域のみなさまが“いきいき”するような新しい取り組みをおこなっていく予定です。この「いきいき通信」は年4回のペースで、センターの紹介やさまざまな市民活動をご紹介します。



7月25日、26日に高岸南公園でおこなわれる「復活！錦林盆踊り大会 2015」に向けての練習会が当センターで6月8日に始まりました。滋賀県より江州音頭の音頭取り・志賀國天寿さんをお迎えしての本格的な練習会。この日は地域の方々、地域外の盆踊りに興味を持つ若者たちあわせて30名ほどの参加となり、交流も兼ねたとても楽しい練習会となりました。「江州音頭（ごうしゅうおんど）」とは、滋賀県を中心に近畿地方各地で盆踊りに用いられる音頭のことと、近江商人が節をつけながら行商をしていた歌だと言われています。

天寿さんよりまず盆踊りの心得から。「錦林には錦林の、様々な地域にはそれぞれの踊りがあります。その踊りを見はったお客さんに、おもろいなあ、ええ踊りやなあと思われないとあかんわけです。だからまず、踊ってくれる人が楽しないとあきません」滋賀県で始まった江州音頭ですが、京都に入ってきて色々と地域ごとにアレンジされたそうです。「京都の人は新しいもん好きやけどそれを全部自分のもんに咀嚼しやる力があります。これは、京都人のええところです。だから、お囃子も取り入れて、なつかつ（昭和30年代）流行ったマンボとかルンバとかいう形態を取り入れた踊りを作らはった。それが錦林地区特有の踊りになったのです。」
「それと、お囃子はそんな上品やなしに、もっと腹の底から！音頭取りとヴァーサスですわ。半分喧嘩腰ですわ。そやから、音頭が下手やったら『音頭取りへ～タなあら大根くうわせえ』くらい言うてもらったらええんすわ。それと、うまいなと思ったら『よいとよいやまかどっこいさのせ～』」

では掛け声の練習に。

やこりやどっこいしょ～!
こりやあっさまでこい！
ええみいなあさあまたあのおみいまあす～!
やれこらせえどっこいせ！



志賀國天寿さん

イラストは盆踊りをごよく愛する京都在住の漫画家のスケラッコさんに描いていただきました。

実は天寿さんは55年前、まだ習いかけのときに錦林地区で音頭取りをされたことがあります。「錦林の踊りは、いき（粹）な、すい（粹）な踊りです」

練習会に参加してみて高齢者の方は、「疲れたけど楽しかった！」と皆さん満足感でいっぱいの様子でした。聞くところによると錦林地区での盆踊りは20年ほど前までは開催されていたそうです。皆さんかつて踊ったステップやお囃子を身体が憶えているようで、地域外から練習会に参加した若者のお手本となっておられました。練習会は毎週月曜日の19時から当センターにて、7月20日の盆踊り本番直前の練習会のみ会場は南禅寺入り口にある京都国際交流会館の前庭にておこないます。途中参加も可能ですのでぜひご参加ください！お待ちしております！（長谷川）

☞盆踊り練習会レポートは裏面に続きます。

INTERVIEW

盆踊り練習会に参加してみて

練習会にご参加いただいた方にお話を伺いました。



仲川信宏さん
(高岸町自治会 会長)

今年も夏のお祭りが開催できるのをとても嬉しく思います。地域住民の親睦を図り、きずなを深めるためにもお祭りはたいへん重要な意味があります。例年当自治会が主体となり、模擬店やカラオケステージなどを行ってきましたが、今年は盆踊りを行うという事で、住民も楽しみにしています。特に若いときに盆踊りに親しんだ高齢者の皆さん、久しぶりに開かれる盆踊りを待ちにしているいらっしゃる事でしょう。私も毎回練習会に参加させてもらっています。

この地域でも高齢化が進み、若い世代と高齢者が交流する事も少なくなりました。このお祭りに、隣接地域だけでなく色々な地域の方々がやってきてくださり、外国人も含めた老若男女がそれぞれに楽しんで帰ってくれる事を期待しています。



鈴木潤さん
(盆踊りバンド 鍵盤担当)

今までレゲエやブラジル音楽など外国のルーツミュージックが好きでずっと演奏をしてきました。何より「踊り」というものは何かあこがれるものを真似するのではなく、その時その場所に集まった人たちが一緒にいるうちに、その人たちの間に自然に生まれ、形になっていくものだということ。それはどここの地域にでもあることなのでしょう。

いつか日本の盆踊りに関わってみたいとずっとと思っていたので、今回参加させてもらって予想以上の最高の経験をさせてもらっています！

ぜひ今まで盆踊りに何の興味のなかった人にも参加してほしいです！

REPORT 2

ゴーヤ、ひょうたんを育てています。



以前務めていた左京西部いきいき市民活動センターでは、ゴーヤやミニトマトの栽培をおこなっていました。左京東部のセンターでもゴーヤなど育てていたというお話を伺い、引き継いで栽培をおこなっていくこととなりました。また、ひょうたんの種を持ってきた職員がおりましたので、そちらも合わせて育てていくことになりました。ひょうたんを使って何か画策しているようです。お楽しみにお待ちください。

ゴーヤは高齢者ふれあいサロンにて栽培をはじめ、既に立派なグリーンカーテンになっています。これからたくさん実がなっていくと思いますので、たくさん収穫して、みなさんに召し上がっていただきたいと思います。ひょうたんは保育所の向かいで栽培中です。これから棚を作り置きたいと思います。どちらもすごいスピードで育っていて、これからがとても楽しみです。(沢)

INTRODUCTION

左京東部いきいき市民活動センター 高齢者ふれあいサロンとは？



左京東部いきいき市民活動センター

いきいき市民活動センターは、市民公益活動はもとより、サークル活動など市民活動を幅広く支援していく施設です。豊かで活力ある地域社会を市民の力で作り出す事を目指し、会議や活動の場として市民活動団体等に施設の貸し出しをおこなっています。また、そうした多様な市民活動がより活性化するための事業もおこなっています。



高齢者ふれあいサロン

高齢者ふれあいサロンは、高齢者の方々の憩いの場として自由にご利用いただくことができます。また、地域の自治会等による地域コミュニティ活動や葬儀等のため使用許可を得て占用使用することができます。

COLUMN

センター長のいきいきコラム



『許容と協力』

センター長 杉山準

当センターをこの4月から指定管理することになった、私たちNPO劇研（げきけん）は、芸術や文化の振興を主たる目的とする法人です。文化を振興すると言いますが、「文化」の意味はとても幅広いもので、「ものの考え方」ということも文化と言えます。「考え方」は人それぞれで、もちろん正解、不正解はありませんから、「何でもいい」とも言えますが。ですが、できれば社会にとって有益な「考え方」を広めたいと考えています。

さて、地域活動に関わっていて目につくのは、そうした多様な「考え方」が時として物事を進めづらくするという現実です。自分の考え（好み、私的な損得）への執着が、異なる考えを受け入れづらくするのです。そんな時大事な事は、執着から離れ、ゆるし、協力ができる余裕をもって議論するという「考え方」なのだと思います。許容と協力は信頼を育みます。執着と排除の思想からは不信と無関心が生まれてしまいます。どちらが地域づくりに有効かは自明のことです。

左京東部いきいき市民活動センター

市民活動を活性化するための
事業運営・市民活動に関する
相談・施設の貸出しをおこなっています。

● 施設の貸し出し

- 料金（1時間）
- 会議室・和室：100円
- 集会室：200円
- 多目的ホール・料理室：500円

● 市民活動に関する相談

● 市民活動に関する情報公開

● 貸しロッカー（800円/月）

左京東部いきいき市民活動センター

〒606-8432 京都府京都市左京区鹿ヶ谷高岸町3-2

TEL : 075-761-1385 / FAX : 075-752-3350

MAIL : info@se-ikiiki.com

URL : http://gekken.net/SE_IKIIKI/

開館時間：10時～21時（日曜日は17時まで）

休館日：火曜日・年末年始（12/29～1/4）

※高齢者ふれあいサロンは10時～16時半

火曜日、日曜日及び年末年始が休館日です。

アクセス：京都市営地下鉄 蹴上駅より徒歩15分

バス停「東天王町」より徒歩5分

※駐車場はございませんので、公共交通機関もしくは最寄りのコインパーキングをご利用ください。

